

10番 柴立豊子 議員

1 学校教育の中での主権者教育について

- (1) 学校教育の中での主権者教育をどのように考えるか。
- (2) 今後、成人していく中学生には自分の考えをまとめ人に話す、また、人の話を聞き理解することができるといった教育が重要と考えるがどうか。
- (3) 全校生徒が立候補するという生徒会役員選挙は主権者教育にとって有効な方法と考えるがどうか。

2 気候危機について

- (1) 本市では様々な温暖化防止の対策が行われている。もっと市民への啓発が必要と思われるがどうか。
- (2) プラごみは燃やし、熱エネルギーを回収しているということだが、温暖化への懸念がある。燃やさないでリサイクルする方法は考えられないか。
- (3) 今回、国会で気候非常事態宣言が全会一致で採択された。本市でも宣言を行う考えはないか。

3 米軍の訓練について

- (1) 平成27年11月の住民説明会の資料にある「KC-130部隊の鹿屋基地・グアムでの訓練及び運用のローテーション展開」の「運用」をどのように捉えているか。
- (2) 米軍の基地使用を認めているということで今回のキーンソード21（日米共同統合演習）について、住民への説明が行われるべきだったのではないか。
- (3) 米軍再編の一環として行われる海上自衛隊鹿屋航空基地での空中給油機訓練の受入れは、撤回すべきではないか。